



金多豆蔵人形劇場こけらおとし【09/8/11】



健やか少年野球大会【09/7/23-29】



竜田ラインウォーク【09/9/13】



畑の学校・食卓の学校【09/5/9】

2009-10



町民大運動会【09/6/28】



町民フリーマーケット【09/3/3】



成人式【09/8/15】



ごどまり春物語ツアー【09/4/18-19】



元旦マラソン【09/1/1】

「希望のまち」を目指し、町が歩んだ5年を振り返って

中泊町が誕生して、今年の3月28日で5年が経ちました。この記念すべき区切りを迎え、これまで町政運営に多大なるご協力、ご尽力をいただきました。また、関係者の皆様、そして町民の皆様に対しまして、改めて心から感謝申し上げます。

本町は、津軽北部四町村合併協議会解散という苦い経験のもと、農業の町「中里」と、漁業・観光の村「小泊」が一緒に手を携え、新しい町を作ろうという大きな志の上に築かれた町です。飛び地合併であったことから、町内外からさまざまなご意見をいただきましたが、むしろそれを大きなエネルギーに変え、新たな町を築こうという町民の皆様の熱い思いが開花し、新町が誕生したものであります。

新町の運営にあたりましては、まず町づくりの柱となる長期総合計画を策定し、「大地の恵と海の幸 心ひとつに希望のまち」をスローガンとして、町民同士の融和を図ることから始めて参りました。自然・生活環境、産業構造が大きく異なる町民がお互いに通じ合うよう、地域連絡バスの運行、防災無線の戸別受信方式によるデジタル化、町民大運動会の開催など、物心両面からの一体感を醸成して参りました。また、合併の大きな目的である行政の効率化にも、一方ならぬご協力をいただきました。富野・薄市保育所の民営化や、既存施設を利用した新小泊

支所、小泊消防署のオープンなどは、町の将来を見据えた上で行ってきたものです。武田・内潟両出張所の廃止など、一部ご不便をおかけしたのもありました。郵便局への業務委託など代替策を講ずることによって、十分ではないもののサービスの低下につながらないよう努めてきたところです。

これらの取り組みは、合併に伴う補助金や特例債など、合併しなければ財源が捻出できなかった事業も多々ありました。まさに、町民の皆様が一体となった合併の効果であると考えております。

最近では、町内各団体による地域づくりの機運がにわかに盛り上がっており、自らの手で地域を活性化させようという動きが活発になってきています。「希望のまち」という抽象的なスローガンが、いま大きな動きとなって具現化しようとしているもので、町にとってこれほど喜ばしいことはありません。お互いに切磋琢磨し、「希望のまち」を作り上げていくよう、今後とも努力して参りたいと思っております。

今年12月には、青森まで東北新幹線がやってきます。皆様のお力を得ながら、町の新たな隆盛を作り上げていきたいと思いますので、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。私のおいさつとさせていただきます。



中泊町長 小野 俊逸

2009年	
1月9日	中里・薄市・富野保育所合同食育教室
1月19日	小泊消防署高規格救急車供用開始
3月8日	第1回町民フリーマーケット開催
3月17日	定額給付金支給開始
4月1日	武田・中高線バス運行開始
4月29日	学校給食センター落成
6月6日	第1回若木川「若野頭首工」ヤマメ体験学習放流会
8月11日	「金多豆蔵人形劇場」こけらおとし
8月30日	第1回中泊町民テニス大会
10月8日	小説「津軽」の像建立20周年記念式典
10月23日	陸上自衛隊ふれあい演奏会
12月25日	第1回中泊町社会福祉大会
2月18日	天皇賞・田中稔賞受賞記念合同祝賀会
3月27日	町民フリーマーケット

（天皇賞・三上新一氏 田中稔賞・荒閑敬悦氏）



学校給食センター落成【09/4/29】



B&G海洋センターオープン【09/7/1】

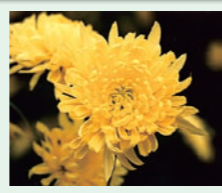


町民テニス大会【09/8/30】

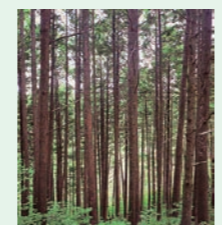


地域づくりフォーラム【10/2/18】

町の花・木・鳥



【町の花一菊】



【町の木一ヒバ】



【町の鳥一ツバメ】

（平成17年12月16日制定）

「菊」は発展途上にある町民の誇りと願い、「ヒバ」は時代を乗り越えて成長する、「ツバメ」は未来への飛躍が期待される、という町のイメージにふさわしいものとして決定されています。

町章

（平成17年3月28日制定）

中泊町の「中」の文字を基調に、豊かな自然の中で躍動する人を象徴的に表現しています。橙は太陽、青は海と空、緑は大地で自然に恵まれた中泊町をイメージしています。



町民憲章

（平成18年3月28日制定）

わたしたちは、豊かな津軽の大地と雄大な日本海の恵みを受けているこの郷土を愛し、美しい自然と先人の英知によって築かれた歴史と伝統に誇りを持ち、心ひとつにみんなで力を合わせ、あずましい町をつくるために、この憲章を定めます。

- 1 働くことに喜びをもち、活力にみちた町をつくりましょう。
- 1 文化とスポーツを愛し、健康で明るい町をつくりましょう。
- 1 子どもとお年よりをいたわり、安らぎのある町をつくりましょう。
- 1 自然を守り、水と緑のきれいな町をつくりましょう。
- 1 ふれあいを大切に、心の温かい町をつくりましょう。